

第18回 先端加速器科学推進シンポジウム

日 時：平成25年5月11日

場 所：新潟大学

共 催：新潟大学

後 援：高エネルギー加速器研究機構、新潟の科学・自然探偵団

テーマ：宇宙の謎に迫る 先端加速器国際リニアコライダーとはやぶさの挑戦

概 要：

5月11日、新潟大学五十嵐キャンパス中央図書館ライブラリーホール（新潟県新潟市）において、「先端加速器科学 技術推進シンポジウム2013 in 新潟～宇宙の謎に迫る先端加速器国際リニアコライダーとはやぶさの挑戦～」(新潟大学、AAA の共同主催、KEK の後援) が実施され、若い世代を中心に多数の参加があった。

シンポジウムは、谷本盛光氏（新潟大学自然科学系長 自然科学系（理学部）教授）による「素粒子の世界を拓く新潟大学の研究」と題する講演からスタート。鈴木厚人 KEK 機構長の「ビッグバンを再現する究極の加速器 国際リニアコライダー」、川口淳一郎氏（宇宙航空研究開発機構シニアフェロー、宇宙科学研究所宇宙飛行工学研究系教授）の「『はやぶさ』が挑んだ人類初の往復の宇宙飛行、その7年間の歩み」についての講演を実施した。

後半のパネルディスカッションでは、講演者が会場からの「宇宙に興味をもったきっかけは」、「研究者になるにはどんな勉強をしたらよいのか」などといった質問にこたえた。